

Nice To Meet You ARTECHNIK

November 3—December 24, 2017

Opening hours: 11:00-20:00

Venue: sendai mediatheque 6F Gallery 4200

Admission: 500 yen (Free for high school students and young children)

青野文昭 Aono Fumiaki

飯山由貴 Iiyama Yuki

井上亜美 Inoue Ami

高嶺格 Takamine Tadasu

門馬美喜 Momma Miki

会期：11月3日（金・祝）から12月24日（日）

公開時間：11時から20時

会場：せんだいメディアテーク 6階ギャラリー4200

入場料：一般500円（高校生以下無料）



ワタシにはマジな技術がない。ワタシが持つわざかな技術は、
ワタシの外にあるより高度な技術によって、次第に無用になっていく。

技術のないワタシは、ワタシの素手で作り出すことができない。
ダレかの技術や、機械によってシステム化された技術を借りなければならない。

ワタシに出来るのは、お金を払うことだけだ。
ダレかが技術を貸してくれるよう、ワタシはいつでも微笑んでいなくてはならない。
そして、ワタシはお金を稼がなければならない。

ワタシの仕事は、巨大なシステムの一部を追従すること。
ワタシは、ワタシを含んだシステムの一部であるが、
ワタシにはシステムの一部分も作り出すことはできない。

ワタシの祖父母は、ワタシよりも技術を持っていた。
カレラの祖父母は、カレラよりもさらに技術を持っていた。
ワタシたちは脆弱になっている。

ワタシは日々、ダレかの作ったダレかの技術に追い立てられているよう。
それはあたかもワタシたちに技術を持たせないかのようだ。
果たしてワタシは、ワタシのための技術を持ち、
自分で立って歩くことができるだろうか。
そのために、ワタシは、システムから逸脱することはできるだろうか。

コンニチワ、技術と言うために

Nice To Meet You

ART

November

Opening hours:
Venue: sendai
Admission: 500

青野文昭
飯山由貴
井上亜美
高嶺格
門馬美喜

Momma Miki

会期：11月3日（金・祝）から12月24日（日）
公開時間：11時から20時
会場：せんだいメディアテーク 6階ギャラリー4200
入場料：一般500円（高校生以下無料）

We live in a highly technological society, one too complicated to grasp as a whole. These technologies provide us with a convenient life, while also giving rise to catastrophe. Having experienced a nuclear disaster, we must once again consider these technologies lying within arm's reach. In this regard, art can be of help. Art is a technique developed in the body, one honed by individuals within the various conditions of their daily lives. However, we tend to separate art from society, and have come to regard it as something special. Alternatively, we tend to use art as a means to affirm the status quo, as though it were a commodity or political policy. As such, we perhaps need to inspect not only modern technology, but also modern art. Only by this can a true "Arts of Existence" emerge in today's modern society.

In this exhibition, five artists express the awe of nature and the unknown, the joy of fumbling around and the humor that exists in the hand's skill through a consideration of art and technology. They try to convey to us the techniques and energies necessary to explore in this harsh world.



井上亜美 Inoue Ami

1991年宮城県丸森町生まれ。京都造形芸術大学こども芸術学科卒業。東京藝術大学大学院映像研究科修士課程修了。在学中に狩猟をはじめる。現場でつぎつぎに起ころう出来事をエスノグラフィックな視点で見つめ、自身が出演・演出・記録する手法で映像作品を制作している。近作に、都会で暮らす獵師の奇妙な生活を描いた『獵師の生活』(2016年)、震災後に獵をやめた祖父を追った『じいちゃんとわたしの共通言語』(2016年)などがある。主な展覧会に、「ULTRA AWARD 2016 ニュー・オーガニクス」(2016年、京都造形芸術大学)、「獵師の生活」(2017年、トーキョーワンダーサイト本郷)など。現在、第5期HAPSスタジオ使用者として京都在住。

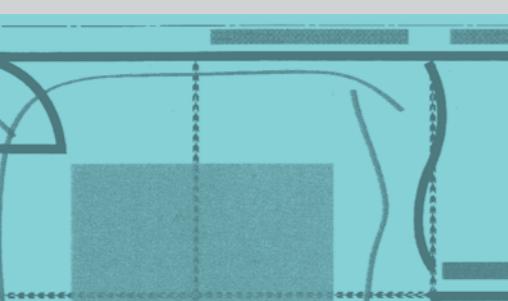
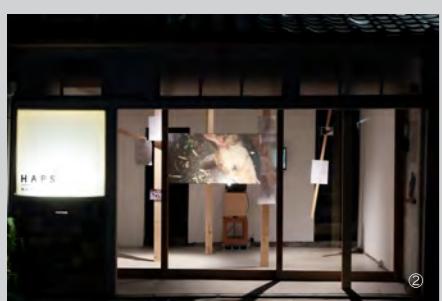
①《獵師の生活》 2016年 ビデオ、6分51秒
②《まなざしをさす》 2017年 (HAPSオフィス、京都での展示風景) 撮影:前谷 開



門馬美喜 Momma Miki

1981年福島県相馬市生まれ。東京造形大学絵画専攻卒業。2005年より中国美術学院大学及び中央美術学院に留学し、書と山水画を学ぶ。滞在中には中国大陆縦横断しながら各地で制作を行う。2013年より震災の影響で断念していた制作活動を再開し、2015年11月に個展「Route 故郷／被災地に通う道」(ギャラリーナつか、東京)を開催。その後の出展に「Route / 59ヶ月」(2016年、トーキョーワンダーサイト本郷)、SICF18(2017年)、グループ展に「被災地からの発信ふくしま3.11以降を描く」(2016年、福島県立美術館)がある。

①《非難区域02 東京電力発電所より西》
(Routeシリーズより) 2016年
油彩、キャンバス、1620×1940mm
②《JR常磐線、防風林が無いため遠くから海岸が見える。》
(Routeシリーズより) 2016年
油彩、キャンバス、1620×1940mm



飯山由貴 Iiyama Yuki

1988年神奈川県生まれ。東京藝術大学大学院美術研究科油画修了。記録物や出会った人へのインタビューなどを手がかりに、戦争やハンセン氏病など喪失や疎外を抱える社会と個人の内面とのつながりについてインスタレーションとして表す。主な個展に「Temporary home, Final home」(2015年、愛知県美術館)、「アーティスト in 六区2016 vol.1 生きている百物語」(2016年、瀬戸内国際芸術祭)。グループ展に「戦争画STUDIES」(2015年、東京都美術館)、「ありのままごと」(2016年、秋田公立美術大学ギャラリーBIYONG POINT)、「歴史する! Doing history!」(2016年、福岡市美術館)などがある。

①《海の觀音さまに会いにいく》 2014年 95枚のスライドと映像のインスタレーション、21分17秒 撮影:宮澤 薫
②《Temporary home, Final home》 2015年 (APMoA Project, ARCH Vol. 16 愛知県美術館) 撮影:林 育正



高嶺格 Takamine Tadasu

1968年鹿児島県生まれ。京都市立芸術大学工芸科漆工専攻卒業。IAMAS (国際情報科学芸術アカデミー) 卒業。立体や平面の造形に留まらず、映像や身体など多様なメディアを用いて、現代社会の不条理をユーモアを交えながら批評的に表現する。近年の主な個展に、「[大きな休息] 明日のためのガーデニング1095m」(2008年、せんだいメディアテーク)、「とおくてよくみえない」(2011年、横浜美術館ほか)、「高嶺格のクールジャパン」(2012年、水戸芸術館)。また、数々の国際展や国内外のグループ展に出品している。1993年から1997年にかけて、パフォーマー/コラボレーターとしてダンス・タイプで活動したほか、舞台美術を手がけるなど、ダンスや演劇とのコラボレーションも数多くある。

①《大きな停止》 2008年
('大きな休息 明日のためのガーデニング1095m'より、
せんだいメディアテーク) 撮影:後藤谷 出
②《Brothers-Solicitude》 2016年



青野文昭 Aono Fumiaki

1968年宮城県仙台市生まれ。宮城教育大学大学院美術教育科修了。モノの持つテクスチャーや形態を手がかりに「なおす」をテーマとして、廃棄物や拾得物を用いた表現を行う。近年の主な個展に、「バランプセスト 記憶の重ね書き vol.7」(2015年、gallery αM)、「青野文昭個展」(2016年、ギャラリーターンアラウンド)。グループ展に、「いま、被災地から一岩手・宮城・福島の美術と震災復興」(2016年、東京藝術大学美術館)、「Royal Academy of Arts Summer Exhibition 2016」(2016年、ロンドン)などのほか、あいちトリエンナーレ2013に出品。宮城県美術館、愛知県美術館、金沢21世紀美術館などにパブリック・コレクションがある。

①《10数年前に東根で破棄された車の復元》 2001年5月15日
收拾物、木材、合板、アクリル系絵具、その他
②《なおす・延長・荒浜》 1996年3月10-5月無題の復元
收拾物、石膏、その他 撮影:小岩 勉



コンニチハ技術トシテノ美術 Nice to meet you ARTECHNIK

青野文昭 Aono Fumiaki
飯山由貴 Iiyama Yuki
井上亜美 Inoue Ami
高嶺格 Takamine Tadasu
門馬美喜 Momma Miki

会期：11月3日(金・祝)から12月24日(日)

公開時間：11時から20時

会場：せんだいメディアテーク 6階ギャラリー 4200

入場料：一般500円（高校生以下無料）

主催：公益財団法人 仙台市市民文化事業団（せんだいメディアテーク）

助成：一般財団法人 地域創造

企画：

長内綾子（Survivart）

細谷修平

清水建人（せんだいメディアテーク）

ビジュアルデザイン：佐藤豊

November 3 — December 24, 2017

Opening hours: 11:00–20:00

Venue: sendai mediatheque 6F Gallery 4200

Admission: 500 yen (Free for high school students and young children)

Organized by: Sendai Cultural Foundation (sendai mediatheque)

Supported by: Japan Foundation for Regional Art-Activities

Co-curator:

Osanai Ayako (Survivart)

Hosoya Shuhei

Shimizu Kent (sendai mediatheque)

Design: Sato Yutaka

関連出版物のご案内

● 小冊子（展覧会会期中に会場で販売）

展覧会趣旨、作家紹介と5つのQ&A、企画者による座談を収録

● 展覧会記録書籍（2018年3月刊行予定）

展示作品の写真や関連イベントからの採録、論考などを収録

アクセス：

せんだいメディアテーク
〒980-0821 仙台市青葉区春日町2-1
TEL: 022-713-3171
FAX: 022-713-4482
<http://www.smt.jp/>

地下鉄

●南北線勾当台公園駅下車、
「公園2」出口から徒歩6分（約450メートル）。
●東西線大町西公園駅下車、
「東1」出口または「西1」出口から徒歩13分。
●東西線青葉通一一番町駅下車、
「北1」出口から徒歩15分。

バス

仙台市営バス 仙台駅前-60番（仙台TRビル前、地下鉄仙台駅「中央2」出口前）のりばから「定禪寺通市役所前」経由交通大学病院「行き」（系統番号がJまたはXで始まるバス）で約10分、メディアテーク前下車。

Access:

sendai mediatheque
2-1 kasuga-machi, aoba-ku, sendai-shi,
miyagi-ken, 980-0821
tel: +81-22-713-3171
fax: +81-22-713-4482

By Subway:

Kotodai-Koen Station is a three-minute ride from Sendai Station on the subway bound for Izumi-Chuo. From there, walk six minutes westward, along Jozenji-Dori from the 'Park 2' exit.

By Bus:

The 'sendai mediatheque' bus stop is approximately a ten-minute ride from Sendai Station on the 'Kotsukyoku Daigaku Byoin via Jozenji-Dori' route.



協力：東山アーティスツ・プレイスメント・サービス (HAPS)、てつがくカフェ @せんだい
後援： 仙台放送局 東北放送 仙台放送 マツダ放送 KOB 東日本放送 河北新報社
朝日新聞仙台総局、読売新聞東北総局、毎日新聞仙台支局、産経新聞社東北総局、日本経済新聞社仙台支局
 仙台リビング新聞社 S-style FM仙台 Radio 103

このチラシはリサイクルできます